

山口県感染症発生週報 (第27週:平成25年7月1日～7月7日)

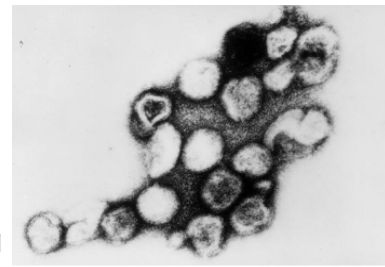
1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核: 26週追加 3例(下関2、宇部1)。27週 3例(岩国1、防府1、宇部1)。

【5類感染症】

・風しん: 2例(下関 20歳代女性、山口 40歳代男性)。平成25年の山口県内累計は18例です。全国的には、5月をピークに減少傾向ではありますが、依然として多数の患者報告が続いています。(第26週までの累計は11,991例)。



風しんウイルス
CDC/ Dr. Erskine Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

- ・手足口病: 報告数はさらに増加し、すべての地域で警報レベルとなりました。病原体検査では、手足口病の検体からは主としてコクサッキーウイルスA6型(CA6)が検出されています。CA6は、2009年頃より手足口病からの検出が増加しており、2011年に手足口病が全国的に大流行した時の主要原因ウイルスでした。CA6による手足口病の症状は、水疱が大きく、手足以外にも広範囲(大腿部や臀部など)に出現するなど、従来の典型的な手足口病とはやや異なるといわれています。[警報レベル: 萩(3週目)、山口(3週目)、防府(4週目)、下関(2週目)、周南(2週目)、宇部(4週目)、岩国(3週目)、長門(2週目)、柳井(1週目)]※
- ・ヘルパンギーナ: 長門で警報レベルが続いており、宇部、下関でもやや多くみられます。夏期に流行する疾患であり、今後の動向に注意が必要です。[警報レベル: 長門(8週目)]※

※警報レベル・注意レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	25週	26週	27週	疾患名	25週	26週	27週
インフルエンザ	3	0	0	百日咳	0	1	0
RSウイルス感染症	2	9	7	ヘルパンギーナ	84	164	187
咽頭結膜熱	26	13	26	流行性耳下腺炎	3	10	7
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	119	112	99	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	191	173	193	流行性角結膜炎	1	2	0
水痘	64	33	43	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	268	452	609	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	1	2	0	マイコプラズマ肺炎	1	1	1
突発性発しん	47	47	35	無菌性髄膜炎	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	1	0	0	2	0	3	1	0	7
咽頭結膜熱	8	2	0	9	0	2	1	4	0	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22	7	6	14	7	31	8	0	4	99
感染性胃腸炎	18	12	1	50	6	44	37	4	21	193
水痘	4	17	2	2	0	3	13	0	2	43
手足口病	150	36	20	95	61	105	84	14	44	609
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	7	0	5	12	0	4	6	0	1	35
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	51	4	3	22	14	11	48	26	8	187
流行性耳下腺炎	2	0	2	1	0	2	0	0	0	7
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0